

“人と人”、“人と自然”との絆で、子どもたちの未来を紡ぐ エコタウン所沢

第38号



環境会報

所沢市環境推進員連絡協議会

“一意専心”

緊急事態宣言下 自然の猛威に襲われた夏でした。

所沢市環境推進員連絡協議会 会長 毛利 吉成



環境推進員の皆様におかれましては、この緊急事態と言っても過言ではない新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言下でのご活躍をいただいております。地域の環境推進員の皆様からは、

緊急事態宣言下の中「発生抑制」、「再使用」、「再生利用」の取り組みに“一意専心”と励ましのお言葉をいただいております。うれしくなりました。ありがとうございます。

今夏の日本列島は、長かった梅雨明けを待って、各地では40度を超す国内観測史上稀にみる記録にない暑さ、さらに豪雨による土石流災害や洪水災害等が起きるなど、自然の猛威に襲われた夏でもありました。

あの東日本大震災も忘れることはできません。

復興復旧に向け、希望をもち、皆が心砕き明るく懸命な姿を報道などで見るにつけ胸熱くなるものがございます。

所沢市は、2014年（平成26年）に「もったいない」の心に基づいた「マチごとエコ

タウン所沢構想」を策定しました。

この構想は、限りあるエネルギー・資源に過度に依存しない「環境基本計画」を統合したものです。

さらに2019年に策定した「所沢市マチごとエコタウン推進計画（第3期所沢市環境基本計画）」は、現在、将来の都市像を元気あふれる持続可能なまち『よきふるさと所沢』人と自然との共生を視点にSDGsの気候変動対策に貢献する取り組みとリンクして始動しています。

このような市の施策展開を円滑に進めていく期待された推進役としてよろしく願います。

「所沢市秋の環境美化の日」

11月7日(日)

みんなで一緒に「ごみゼロ」活動の日です。

みんなが参加してきれいに！

「歩道」や「歩道の植え込み」などに誰かが「ペットボトル」を捨てています。他人事としないでみんなが地域をきれいにしていく活動です。

環境推進員の皆さんよろしくお願いします。

「ごみゼロ」活動は、コロナに打ち勝つ行動！

所沢市は、「プラごみゼロ」宣言をしています。

令和3年度所沢市環境推進員連絡協議会総会について

新型コロナウイルス感染拡大の状況により、総会の開催は中止とし、5月26日に書面表決方式にて行いました。会則第10条の2により各地区から5名の代表者を選出いただき、計55名の全ての方から議案第1号から第4号までご承認を頂きました。

令和3年度の役員は、下記の皆様です。

- ・会長 毛利 吉成 (山口)
- ・副会長 鈴木 由紀子 (吾妻)
- 宮 高 隆 (並木)
- 片居木 栄 (小手指)

- ・会計 久下 紀世 (新所沢)
- 宮 沢 勝利 (新所沢東)
- ・監事 荻野 義雄 (三ヶ島)
- 荒 木 孟 (柳瀬)

セブン-イレブン様にアイドリング・ストップの周知にご協力いただきました

環境対策課



皆様はご存知でしょうか？

埼玉県生活環境保全条例により、駐停車中のアイドリングは禁止されています。

環境対策課では、埼玉県から権限移譲を受け、アイドリング・ストップ（エンジン停止）に関する事務を所掌しています。このアイドリング・ストップは、運転者の方には実施が義務づけられていることはもちろん、一定規模以上の駐車

場（20台以上収容又は面積500㎡以上）の設置者や管理者の方には周知することが義務づけられています。

この度セブン-イレブン様にご協力いただき、一定規模に満たない店舗も含めた駐車場を設置している市内の全ての店舗にアイドリング・ストップの周知を実施していただきました。

買い物をする際のちょっとした駐車や、人待ちをする時や荷物の積み下ろし、車内で休憩する時など自動車の駐停車時には、アイドリング・ストップを心掛けましょう。

アイドリング・ストップは、自動車の排気ガスによる大気汚染の低減や気候変動対策（地球温暖化防止）などに効果があります。また燃料価格が高騰している現在、ガソリンなどの節約にもなり、お財布にも優しいです。

アイドリング・ストップで、きれいな空気を取り戻しましょう。

ゼロカーボンシティの実現へ～私たちができること～

まちごとエコタウン推進課

所沢市では、地球温暖化対策に積極的に取り組むため、2020年11月に「ゼロカーボンシティ」を表明し、2050年度までの二酸化炭素の排出実質ゼロを目指しています。このためには、ものを大切に使う、建物、車、製品生産等のエネルギー源を化石燃料ではなく、環境にやさしいエネルギーへ変える等の大きな変化が必要です。令和元年度の所沢市域からの温室効果ガス排出量は約133万t-CO₂で、民生家庭部門、民生業務部門、運輸部門からの排出割合が多くなっています。私たちが地球環境に関心や問題意識を持ち、行動に移すことで、地球温暖化の防止につながることができます。

〇ライフスタイルを見直す

12月1日（水）に、市では「冬の省エネ総点検の日」として、市内事業者と協働し、店内の照明を消灯するライトダウンイベントを実施します。皆様もご家庭で、普段なにげなく使っている電気のことや、地球の未来のことを考えてみませんか。

〇気になることを調べてみる

先日の東京オリンピック・パラリンピックの聖火の燃料をご存知ですか。燃焼時に二酸化炭素を排出しない水素を使用していました。市では、水素をエネルギー源とする燃料電池自動車（FCV）を所有しており、自治会イベント等の地域貢献型イベントに対し、クリーンな電源としてFCVを貸し出しています。

市の所有するFCV（給電イメージ）



〇建物・機器等からの排出を減らす

所沢市には、ご家庭、事業者等の建物の断熱改修や省エネ・創エネ機器、電気自動車等の導入に係る経費の一部を補助する「所沢市スマートハウス化推進補助金」があります。（予算額に達すると終了）地球にも経済的にも効果的です。ぜひご活用下さい。

令和3年度 秋の「環境美化の日」について

秋の「環境美化の日」は、令和3年11月7日（日）に行います。

ただし、参加不参加の最終決定は各自治会町内会様に委ねます。

参加の場合は、マスク着用等の新型コロナウイルスの感染防止対策をお取りいただき、鼻水・

唾液のついたごみは直接触らない等の注意をお願いいたします。

彩の国「新しい生活様式」安心宣言に従って、活動したいと思います。

参考のため、次ページに掲載します。

埼玉県安心宣言について



彩の国「新しい生活様式」における 地域清掃活動 10のポイント



埼玉県のマスコット
「コバトン」「さいたまっち」

感染症を広めない・かからないために
清掃活動の10のポイントをまとめました。

1

清掃日時や場所を分散させ、
密集を避ける。



6

なるべくトングを使用し、
ごみに**直接接触**れない。



2

一緒に活動するメンバーと
十分な距離を確保する。
(2メートル以上)



7

手袋やトングなどの物品を
共有せず、使用後の**消毒**
徹底する。



3

活動前の体温計測による体調不良者の
参加制限やメンバーの
連絡先の把握を徹底する。



8

ごみ袋の空気を抜き、
しっかり縛って封をする。



4

手袋・マスク等を装着し、
長袖・長ズボンを着る。



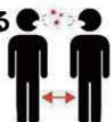
9

活動終了後は**うがい・
手洗い**や**手指の消毒**
を徹底する。



5

活動の開始・終了時や休憩時における
密集を防止するとともに、
対面での飲食や会話を**控**える。



10

家に帰ったら、できるだけ
すぐ着替える、
シャワーをあびる。



気温・湿度の高い時期は適宜マスクをはずし、
水分補給をするなど、熱中症に十分注意しましょう。



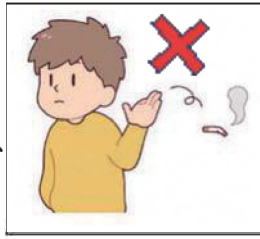
詳しくはHPへ



歩きたばこ等の防止に関する条例

生活環境課

周囲の人に迷惑や被害を与える恐れがある、「歩きたばこ」や「吸い殻のポイ捨て」は、なかなか後を絶たず、時折、市へ相談が寄せられています。



市では、平成18年に「所沢市歩きたばこ等の防止に関する条例」を制定して以来、環境推進員の皆様のお力添えをいただきながら、喫煙マナーや環境美化意識の向上をはかり、安全で清潔かつ快適な生活環境の確保をしているところです。しかしながら、ほんの一部の方だとは思



いますが、未だにご理解・ご協力をいただけていないようです。

今年度は、残念ながら7月と11月の歩きたばこ等

防止啓発キャンペーンが中止となり、対面でご案内をする機会がありませんが、普段から「歩きたばこ」や「吸い殻のポイ捨て」をなくすための呼びかけは大切ですので、機会がありましたら、周りの方々へご案内いただけたら幸いです。

ちなみにこの条例は、「路上喫煙禁止地区」以外の公道等で、喫煙による他人への影響など周囲の状況に十分配慮いただき、立ち止まり、携帯灰皿を使用して喫煙すること自体禁止するものではありません。当然、自転車乗車中の喫煙行為は禁止です。

吸い殻のポイ捨て行為は、市の条例では罰則はございませんが、埼玉県「埼玉県ごみの散乱防止に関する条例」では、ごみをみだりに捨てることを禁止し、違反者に対しては2万円以下の罰金が科せられています。



令和3年度 集合狂犬病予防注射について

生活環境課

4月2日(金)から4月24日(土)の16日間42会場にて行われ、1,846匹に注射がされ、69名の環境推進員による、啓発活動が行われました。

秋季もったいない市中止

資源循環推進課

環境推進員の皆様のご協力のもと、毎年春季と秋季に全市一斉開催を実施しております「もったいない市(古着・古布・陶磁器の再使用促進イベント)」についてですが、新型コロナウイルスへの感染が再拡大しており、もったいない市の参加者・来場者の皆様の安全・安心の確保が困難であることから、10月及び11月に予定していた秋季もったいない市もすべての日程で中止いたします。楽しみにしていた方、準備をいただいた皆様には誠に申し訳ございませんが、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

なお、まだ使える古着・古布については、月1回ある古着・古布の収集日もご利用ください。また、リサイクルふれあい館「エコロ」や東所沢エコステーション「エコステ」でも資源物の回収を行っております。収集された衣類は、海外に輸出されて中古衣類として再利用されたり、繊維状にして新たな製品に生まれ変わります。

古着・古布のリサイクルに、どうぞご協力をお願いいたします。



リサイクルふれあい館「エコロ」



東所沢エコステーション「エコステ」

編集後記

1年間の延期を経て、新型コロナウイルスが猛威を振るう中、結局無観客の中で開催された、東京オリンピック・パラリンピックの授与メダル金・銀・銅メダル約5,000個分は一市民の発案で、廃家電の電子基板に含まれる金・銀・銅から提供された。「都市鉱山からつくる!みんなのメダルプロジェクト」で全国市町村数1,741のうち、1,621自治体が参加。小型電子機器約78,985トン分を回収。又NTTドコモが約621万台の携帯電話を回収。所沢市も参加(所沢市では22,628台の携帯電話回収。これは金・銀メダル8個、銅メダル401個分に相当)。協力頂いた多くの市民の皆様に深く感謝。

名古屋市の河村市長のメダルかじり、弁当・マスクの廃棄問題等は本当にもったいない。熱戦を繰り広げ多くの夢・希望・感動を与えてくれたアスリートの活躍に水を差す。

編集委員(◎印は委員長)

◎宮高 隆(並木)、久下 紀世(新所沢)、
新居 亨一(山口)

事務局:所沢市 環境クリーン部 生活環境課

☎04-2998-9370

所沢市のホームページ

<http://www.city.tokorozawa.saitama.jp/>

『トップページ』⇒『暮らし・手続き』⇒『環境・みどり』
⇒『生活環境』⇒『環境推進員連絡協議会』についてを選択してアクセスしてください。